

携帯無線機 取扱注意事項（必ずお読みください）

はじめに

- ・通話は、無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方及び通信事項の範囲内で行ってください。ただし、人命救助、洪水、火災などの災害時に、人命に関わる通信を行うときはこのような制限はありません。
- ・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
- ・他人の話を聞いて、これらを漏らしたり悪用したりすることは電波法令で禁じられています。
- ・本機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令に違反します。

警告事項

運転中のご利用について

自動車運転中の無線機利用については、その地域での条例などをご確認ください。自動車運転中に無線機をご使用になる場合には、安全な場所に車を停車させてから無線通信を行ってください。交通事故の原因となることがありますので運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。

爆破区域及び爆発性のある危険地帯（又は爆発の危険性がある大気状態）

爆破区域内及び可能性のある危険地帯（又は爆発の危険性のある大気状態）での無線機の使用は、爆破物への引火（又は爆発）の危険性・無線機あるいはその付属品によりスパークが発生し爆発を誘発する危険性をともなうので、無線機の電源をOFFにし、無線機を使用しないで下さい。

危険地域には、石油コンビナート、船舶のアンダーデッキ、燃料や化学物質の輸送・貯蔵施設、穀物や粉塵、金属粉などの微粒子や化学物質が空気中に含まれている区域などが含まれます。また、無線機やその付属品の置かれた車内に、可燃性のある気体や液体、或いは爆発の危険性をもった物を載せて輸送したり保管したりしないでください。

その他使用にあたって

ゴルフ場などの野外で携帯無線機を使用中に雷鳴が聞こえた時は、落雷のおそれがありますので無線機を使用しないでください。また、本無線機は直接水のかかる場所や湿気の多い場所で使用したり、濡れた手などで本機をご使用になると故障の原因となる場合があります。（雨天、降雪、海岸、水辺などでの使用にはご注意ください）

医療用及び個人用電子機器との混信

医療および個人用電子機器のほとんどは、電磁波からシールドされています。ただし、十分シールドされていない電子機器については、無線機からの電磁波の影響を受ける場合があります。アンテナから15cm以内のところにそれらの機器がある、又は他の人がいる場合は無線通信などの操作を行わないで下さい。療機器や計器あるいは個人の医療電子機器に影響を与える可能性があるため、無線機の電源をOFFにし、無線機を使用しないでください。詳しくはそれぞれの製造メーカーおよび販売店にご確認ください。

その他電子機器との混信

正しく設置されていない、また、十分にシールドされていない自動車の電子操作系統や娯楽用機器など、電磁波によって影響を受ける場合があります。それぞれの販売メーカーまたは販売店に、それらの設備が外部からの電磁波から適切にシールドされているかどうかご確認ください。また、自動車などに別途追加した設備についてもご確認ください。航空機内での運用は航空機の各種装置や計器に影響をあたえる可能性があるため、無線機の電源をOFFにし、無線機を使用しないでください。

無線機本体について

火災や感電故障の原因となりますので、分解や改造は行わないでください。通信に支障をきたすほか電波法令に違反します。

付属品およびアンテナについて

付属品については弊社販売店にご相談の上正しく取り付けてご使用ください。バッテリー、充電器など周辺機器については必ず専用の物をお使いください。発熱や発火、故障の原因となります。アンテナについては付属品のアンテナをご使用ください。取り外して基準を満たしていない他のアンテナや、他の部品を付け加えるなどの改造をしたアンテナを使用した場合、通話品質を損ねたり、無線機本体に支障をきたすほか電波法令に違反します。また、アンテナが破損した場合、その状態のまま無線機を使用しないでください。破損部分が人体等に触れたまま使用した場合、人体に損傷をきたす場合があります。

無線通信をするにあたって

の距離を2.5cm以上離して通信してください。無線機を「使用中」の場合、人体がアンテナに触れていると通話品質が悪くなり、出力レベルが必要以上に高くなる場合がありますのでアンテナには触れないでください。

エアバック付きの自動車について

エアバックは激しい勢いで膨張します。エアバック周辺ならびにエアバックの広がる範囲内に通信機器を設置しないでください。通信機器が適切な場所に正しく設置されていないと、エアバックが膨張した際に通信機器により直接またはエアバックそのものの破損により人体を損傷する可能性があります。また、エアバックの寸法、形状、広がる範囲などは自動車の形式や車種によって異なりますので、自動車製造メーカーおよび自動車販売店にご相談ください。

注意事項

異常に温度が高くなることや、直接雨や水のかかる場所に放置しないでください。変形や異常の原因になる場合があります。

直射日光のあたる場所（自動車内）や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

接続端子に金属片等が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になる場合があります。

強い衝撃をあたえたり、投げつけたりしないでください。

アンテナが破損することがありますので、無線機を持つ時は、アンテナの部分をつかまさないでください。

接触不良の原因となりますので、オーディオアクセサリを使用しないときには、サイドカバーを付けてご使用ください。

[バッテリーをお使い頂く前に]

誤った取扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあります。必ず下記事項をお読みいただいてからご使用ください。

危険

充電の際には専用の充電器を使用してください。専用以外の充電器などで充電しないでください。

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）や引火性ガスの発生するような場所での充電・放置はしないでください。

バッテリーの端子をショートさせないで下さい。持ち運ぶ際や保管する際は端子が金属片などと接触しないようにしてください。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

直接ハンダ付けしないでください。

分解や改造はしないでください。

注意

夏期、閉め切った車内に放置するなど極端な高温や低温環境では電池の容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温（20 ± 5）でご使用ください。

水、雨水、海水などにつけたり、濡らしたまま放置しないで下さい。

バッテリーを使用しない場合には、無線機本体からバッテリーを外して湿気の少ない場所で保管してください。

[取扱い上のお願い]

電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

無線機本体の清掃の際は、固めの豚毛のブラシに洗剤溶液（台所用洗剤を水に混ぜて作ったもの）を少量つけて軽くこすってください。清掃後は、糸くずのつかない布できれいに拭き取ってください。また洗剤の溶液がコネクタ付近、または溝や割れ目に残らないように注意してください。

無線機を直接、洗剤の溶液の中に入れるようなことは絶対にしないでください。

溶剤やアルコールなどで無線機を洗浄すると、無線機を傷めたり破損したりすることがあります。

